

ごあいさつ

いつも公明党に対し多大なるご協力・ご支援を賜りありがとうございます。

昨年、8月の臨時議会で副議長の大任を拝し、早いもので一年が経とうとしています。今年に入り新型コロナウイルスが全世界に広まり、政府は4月16日、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための緊急事態宣言を発令され全国に感染予防対策を広げることを決め発表されました。5月26日には緊急事態宣言が解除され、「新しい生活様式」を基本に日常生活を少しずつ取り戻すよう進めていますが、第2波をどう防ぐかが大きな鍵となっていきます。新型コロナウイルスの感染拡大は、これまでに私たち人類が築き上げてきた社会経済システムを土台から揺るがし、世界中の国々に多くの深刻な問題をもたらしています。事態は刻々と変化し、問題が終息していく見通しは未だ立っていません。

6月17日「コロナ国会」ともいうべき内容であった通常国会が閉会し、コロナ対策による第1次補正、第2次補正と政府は、百年に一度の国難に対して矢継ぎ早に経済対策をしてきました。

基礎自治体として、本市は、第1次補正の1兆円の地方創生交付金から4億2千万円の交付を受け、市内経済活性化や市民生活を守る数々の施策を打ち出し、今回の第2次補正の地方創生交付金についても本市にとって大切な予算であります。今後も市民の皆さんに寄り添いながら、生命と生活を守る政策を全力で推し進めて参ります。

大阪広域水道企業団議会 令和2年2月定例会本会議 一般質問

大阪広域水道企業団 議会議員（松原市選出） 河内 徹

① 大阪広域水道企業団として府域一水道の実現への取組み

② 水道用水供給事業の今後の事業運営

を質問させていただきました！



2020.2.14

① 「府域一水道の早期実現のための取組について」 (府域水道の今後の課題や一水道の効果・課題等について)

Q 府域一水道をめざして、平成29年度に3団体を統合、現在まで9団体との統合が実現したものの、構成団体の水道事業との統合をできるだけ早く進めることが必要であると認識しております。「府域一水道」に対する企業団の認識について、お聞かせください。

A 現在水道事業を取り巻く環境は、人口減少で給水収益の減少、老朽化施設の更新で支出の増加、技術継承問題など厳しい経営環境の中にあります。この状況に対応するためには、広域化による業務の効率化等を図り、経営基盤を強化する必要があり、企業団としては、大阪府とも連携しながら、できるだけ早期に府域一水道が実現できるよう種々取組を進めているところです。



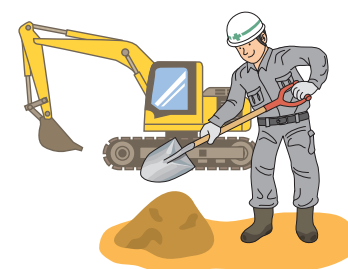
Q この秋、実施予定の大阪都構想の住民投票の結果によっては、府域一水道に大きな影響をもたらすのではないかと考えております。企業団としては、現時点で大阪都構想が府域一水道の実現にどのような影響があると考えているのか。

A 現時点では、大阪都が実現した場合、大阪市の水道事業は広域自治体である大阪府が所管するということが明らかにされていないため、今後の動向を注視していきます。そのため、引き続き「府域一水道に向けた水道のあり方協議会」に参画し、持続可能な水道事業の構築のための検討を行い、府域の水道事業の状況の変化にも迅速に対応できるよう、情報収集と共有を図っていきます。

★住民であるエンドユーザーにとって大きなメリット。 取組を推し進めていただき、府域一水道の実現を。

② 「水道用水供給事業の今後の事業運営」 企業団水の値下げを目標とした経営改善について (経営改革に取り組み・持続可能な経営基盤を構築・支出の縮減に向けた計画)

Q 水道用水供給事業として、今後の経営改善策について詳しくお聞かせください。



A 企業団では、これまでも効率的な事業運営に努めてきており、今後も厳しい経営環境の中、経営改善に取り組んでまいります。具体的には、インターネットでの用地の売却や定期借地権による用地の貸付など取り組んできました。今後とも、収入の確保に積極的に進めてまいります。また、支出の縮減に向けては、民間事業者の持つ技術・ノウハウを活用して、工期の短縮や職員の負担軽減を図るとともに、コスト縮減をめざし、様々な業務において官民連携手法の導入の検討を進めていきます。さらに、事務事業の見直しに加え、業務のさらなる効率化に向けて、WEB会議システムの導入やAIを活用した議事録の作成等、今後も積極的に経営改善策を検討、実施することで計画期間内の収支改善をめざしてまいります。

Q 私は、企業団が様々な経営改善策を着実に進め、改善を進めることにより、現行料金水準の72円を維持するだけでなく、令和5年には、計画を見直されるとも聞いており、値下げを目標とし、さらに挑戦した経営改革を推し進めていただきたいと思っておりますが。

A 企業団を取り巻く環境は、今後も厳しい経営状況が続くものと見込んでいます。経営改善に取り組むことで、経営基盤の強化に努めていくこととしています。5年度に予定しております計画見直し時には、厳しい経営状況ではありますが、取組の効果を反映したうえで改めて収支状況を勘案し、安全で良質な水を安定的かつ低廉にエンドユーザーまでお届けできるよう努めてまいります。

★さらなる経営のご努力による料金値下げをお願いします。

大阪広域水道企業団 永藤 英機 企業長へ 新型コロナウイルス感染症に係る対策について要望書を提出！

新型コロナウイルス感染症が経済的に甚大な影響をもたらしている現下の状況を踏まえ、市民生活並びに経済活動を支援するために、松原市をはじめ、府内の水道事業者が水道料金の減額等に取り組むことが公表されています。貴企業団におかれましても、大規模事業者として、現下の状況を踏まえた施策を講じていただきたく要望いたします。

2020.4.27

大阪広域水道企業団 議会議員（松原市選出） 河内 徹

